

(有)天龍農林業公社 平成20年度の経営状況を公表します

収支報告

(単位:万円)

< 収 入 >	平成19年度 決算	平成20年度 決算	差引増減
一般受託収入	373	64	309
生産品販売収入	650	654	4
農作業受託収入	383	151	232
計	1,406	869	537
< 費 用 >			
人件費	1,542	1,488	54
(率)	66.8	71.3	
経費	766	600	166
(率)	33.2	28.7	
計	2,308	2,088	220
営業損益	902	1,219	317
営業外収入	34	184	150
村補助金	900	900	0
計	934	1,084	150
支払利息、雑損失等	0	0	0
経常利益	32	135	167
特別利益	0	118	118
当期損益	13	24	37
累計損益	6	30	24

社員数

	19年度	20年度	増減
取締役	4	4	0
社員	2	2	0
(臨時労務員参考)	(24)	(24)	0
計	6	6	0

*社員数は社長を除く。また臨時労務員は参考

事業報告

1 利用契約農地(耕地面積) (単位 a)

区分	19年度	20年度	増減
田	237	283	46
畑	261	261	0
計	498	544	46

2 遊休利用農業経営面積 (単位 a)

区分	19年度	20年度	増減
あけび	23	23	0
栗	30	30	0
かりん	2	2	0
茶	150	150	0
小梅	47	47	0
中梅	24	24	0
くるみ	34	34	0
ゆず	8	8	0
すもも	1	1	0
ピーマン	14	14	0
ていざなす	3	3	0
トマト	3	3	0
ふさすぐり	2	2	0
水稲	85	131	46
花木	25	25	0
切花	0	0	0
計	451	497	46

設立以来7年を経過し、村の補助金によることも大きいのですが、天龍村営農支援センター等の栽培作物の再検討を行ない、21年度に向けてビニールハウス設置やサニーレタスの栽培を進めています。今後につきましては、村の伝統野菜としての「ていざなす」の育苗及び生産の拡大を図る等収入の増収につながる経営努力を促します。また、公社設立の目的である遊休農地の解消については、村の基本構想に示す要活用農地を重点的に利用権契約を進め、経営改善に努めたいと思います。